

科目名 Course Name	ICDコーディング II International Classification of Diseases Coding II			ナンバリング No.	D3-003		
年次	2年	期別	前期	単位数	2	授業形態	演習
担当者氏名	古川貴子						
連絡方法	C-Learning で対応。オフィスアワーは授業担当時間外。						
必修/選択	選択						
関連 DP	DP2、DP5、DP6						
授業の概要と到達目標	<p>DPCを取り入れている医療機関にとって欠かせないICDコーディングの知識及び応用力の習得を図る。</p> <p>①ICD10・ICD-9-CMに関するコーディングの知識を習得し、疾病及び処置の分類ができるようにする。</p> <p>②DPC算定におけるICDコーディングの必要性を説明できるようにする。</p> <p>③症例に基づく分類方法を理解できるようにする。</p>						
授業の方法	診療科別の疾患及び検査・処置・手術に関連する講義・練習問題を通じてICDコーディングの上級レベルの習得を図る。事例を提示し学生同士で話し合う。						
学習成果	L01						
	L02						
	L03	ICDコーディング技能検定 2 級に合格できる。					
	L04	英語の疾病を読み解きコーディングを行うことができる。					
課題に対するフィードバック	小テストはテスト後に模範解答を示し、授業内に各自にフィードバックする。						
教科書/参考図書	ICDコーディング応用テキスト、基本テキスト(日本コーディングセンター)						
履修上の留意点やルール等	<ul style="list-style-type: none"> ●コンピュータ教室は飲食禁止である。 ●PC操作の基本を理解すること。 ●ICDコーディング技能検定 2 級を受験する場合は必ず履修すること。 ●事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 45 分とする。 						
担当教員の実務経験							

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	基礎知識・演習内容を理解している。授業に集中して取り組んでいる。			20	
レポート/作品					
発表					
小テスト	授業の進捗に合わせて随時確認テストを行い、理解度に応じて評価する。			30	
試験	授業の到達目標に掲げた項目の理解度に応じて評価する。				40
その他	検定試験の合否により加点する。				10
合計				50	50

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス・概要説明 PC操作について
	事前・事後学習	事前:コーディングソフトの使用方法 事後:疾病及び手術処置のコーディング練習
2	授業内容	感染症及び寄生虫症・新生物のコード化
	事前・事後学習	事前:テキスト5～19 ページ 事後:演習問題1,2の練習
3	授業内容	血液・免疫疾患・内分泌疾患のコード化
	事前・事後学習	事前:テキスト21～33 ページ 事後:演習問題3,4の練習
4	授業内容	精神及び神経系疾患のコード化
	事前・事後学習	事前:テキスト35～45 ページ 事後:演習問題5,6の演習
5	授業内容	手術処置に関連するコーディングの解説
	事前・事後学習	事前:テキスト145～150 ページ 事後:処置分類の方法について学習
6	授業内容	手術処置のコーディング演習(小テスト①)
	事前・事後学習	事前:テキスト151～152 ページ 事後:演習問題21の練習
7	授業内容	眼・耳の疾患のコード化
	事前・事後学習	事前:テキスト49～53 ページ 事後:演習問題7の練習
8	授業内容	循環器系の疾患のコード化
	事前・事後学習	事前:テキスト55～61 ページ 事後:演習問題8の練習
9	授業内容	呼吸器系及び消化器系疾患のコード化
	事前・事後学習	事前:テキスト62～75 ページ 事後:演習問題9,10の練習
10	授業内容	皮膚・筋骨格系の疾患のコード化
	事前・事後学習	事前:テキスト77～89 ページ 事後:演習問題11,12の練習
11	授業内容	腎尿路生殖器系の疾患のコード化
	事前・事後学習	事前:テキスト92～95 ページ 事後:演習問題13の練習
12	授業内容	妊娠・分娩・産褥に関するコーディング(小テスト②)
	事前・事後学習	事前:テキスト97～101 ページ 事後:演習問題14の練習
13	授業内容	新生児の病態に関するコーディング
	事前・事後学習	事前:テキスト103～107 ページ 事後:演習問題15の練習
14	授業内容	先天奇形及び症状についてのコーディング
	事前・事後学習	事前:テキスト111～113 ページ 事後:演習問題16の練習
15	授業内容	症状・徴候・異常臨床所見に関するコーディング
	事前・事後学習	事前:テキスト115～117 ページ 事後:演習問題17の練習
16	授業内容	損傷・中毒に関するコーディング
	事前・事後学習	事前:テキスト119～125 ページ 事後:演習問題18の練習
17	授業内容	傷病及び死亡の外因に関するコーディング
	事前・事後学習	事前:テキスト129～141 ページ 事後:演習問題19,20の練習
18	授業内容	症例に基づくコーディング(症例1～5)(小テスト③)
	事前・事後学習	事前:テキスト155～157 ページ 事後:各症例に基づくコーディングの練習
19	授業内容	症例に基づくコーディング(症例6～10)
	事前・事後学習	事前:テキスト157～159 ページ 事後:各症例に基づくコーディングの練習
20	授業内容	症例に基づくコーディング(症例11～15)
	事前・事後学習	事前:テキスト160～162 ページ 事後:各症例に基づくコーディングの練習
21	授業内容	症例に基づくコーディング(症例16～20)
	事前・事後学習	事前:テキスト162～164 ページ 事後:各症例に基づくコーディングの練習
22	授業内容	症例に基づくコーディング(症例21～25)
	事前・事後学習	事前:テキスト165～167 ページ 事後:各症例に基づくコーディングの練習
23	授業内容	症例に基づくコーディング(症例26～30)
	事前・事後学習	事前:テキスト167～169 ページ 事後:各症例に基づくコーディングの練習

24	授業内容	症例に基づくコーディング(症例 31～35)
	事前・事後学習	事前:テキスト 170～172 ページ 事後:各症例に基づくコーディングの練習
25	授業内容	症例に基づくコーディング(症例 36～40)
	事前・事後学習	事前:テキスト 172～175 ページ 事後:各症例に基づくコーディングの練習
26	授業内容	症例サマリーのコーディング(1～4)
	事前・事後学習	事前:テキスト 178～182 ページ 事後:退院サマリーによるコーディングの練習
27	授業内容	症例サマリーのコーディング(5～8)
	事前・事後学習	事前:テキスト 183～187 ページ 事後:退院サマリーによるコーディングの練習
28	授業内容	症例サマリーのコーディング(9～12)
	事前・事後学習	事前:テキスト 188～194 ページ 事後:退院サマリーによるコーディングの練習
29	授業内容	症例サマリーのコーディング(13～16)
	事前・事後学習	事前:テキスト 195～199 ページ 事後:退院サマリーによるコーディングの練習
30	授業内容	学習のまとめ
	事前・事後学習	試験に備えてのコーディング練習